

婦団連ジェンダー平等推進ニュース

2020年6月1日

NO. 2

Tel.03-3401-6147 Fax.03-5474-5585

email:fudanren@cocoa.ocn.ne.jp

ジェンダー4署名 16万6278人分を提出！

3月～5月のジェンダー平等推進月間の総まとめとして、5月28日ジェンダー4署名提出行動を行いました。柴田会長が挨拶。コロナ危機の下でしたが、16万6278人分の署名を第201回通常国会に提出、衆参8議員から激励の挨拶を受けました。参加者発言ではコロナ禍での活動や生活の実態、要望がつぎつぎと語られ、久々の交流の場ともなりました。省庁要請は行わず、第5次男女共同参画基本計画策定に向けた政府への要望書を内閣府に提出、行動に参加された議員へも手渡しました。



請願タイトル	提出署名数
女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める請願	43629
民法・戸籍法の差別的規定の廃止・法改正を求める請願	41624
「慰安婦」問題の解決を求める請願	37852
所得税法第56条の廃止を求める請願	43173
合計	166278

紹介議員 計33人

衆議院－【共産党】全議員12人、【立憲】大河原雅子・近藤昭一・山尾志桜里（選択議定書・民法）、
【公明】高木美智代（選択議定書・民法）計16人 参議院－【共産党】全議員13人、
【国民】森ゆうこ・徳永エリ、【社民】福島みずほ、【沖縄の風】伊波洋一 計17人

集会参加議員 計8人

衆議院－大河原雅子、【共産党】高橋千鶴子、畑野君枝、田村貴昭 計4人
参議院－【共産党】井上哲士、紙智子、岩淵友、吉良よし子 計4人（福島みずほ・秘書）

女性差別撤廃条約選択議定書批准をめぐる一参加国会議員の発言から

井上哲士参院議員

3月の外交防衛委員会で2回にわたり選択議定書の早期批准を求め、茂木外相は「検討を加速し、早期に締結するために障害になっている課題を早期に解決する。関係省庁と鋭意協議させていただきたい」と答弁しました。

大河原雅子衆院議員

井上質問に対する茂木外相の答弁をもとに5月26日内閣委員会で橋本聖子男女共同参画担当大臣に質問、「検討」ではなく「リーダーシップをもって取り組みます」という決意を引き出しました。

*選択議定書批准要請署名は婦団連の加盟する「女性差別撤廃条約実現アクション」から提出します。

行動参加団体からの発言

農民連女性部

種苗法「改正案」の成立を断念させました。民間企業参入のために種の自家増殖の原則禁止と育成者権の強化を盛り込んだ「改正案」には重大な問題があります。コロナ対策に集中すべきです。

新婦人

国会請願署名だけでなく地元の地方議会での意見書採択という、より身近な取り組みにしました。コロナ危機で困難でしたが昨年を上回る署名を集めることができました。

自治労連女性部・国公労連女性協

保健所、保健師が圧倒的に足りません。公務員は不眠不休で働いていますが、人手がまったく足りません。これまでの政策のつけが回っている中で、でも頑張っています。

全労連女性部

労働相談が押し寄せています。出版や各種インストラクターなど、こんなにかつたのかというほどフリーランスの働き方が多い。コロナ後の働き方にも影響することが懸念されます。

全教女性部

突然のいっせいで休校で子どもも教員も保護者も大変な日々です。分散登校の合間の時間は校内をひたすら消毒します。それでも、子どもたちの教育を受ける権利のために頑張っています。

婦人民主クラブ

一人親、介護を受けている高齢者、障害者・・・女性もそうですが、弱い立場の人びとのための政策が足りません。臨時でもいいから公務員を増やしてほしい。

お知らせ（予定は今後の状況によって変更することもあります。）

- ☆ジェンダー視点に立ったコロナ対策を求める婦団連の要望をまとめて近く提出します。
- ☆『婦人通信』6月号、7-8月合併号（7月前半発行予定）はともにコロナ特集です。
- ☆『女性白書2020・ジェンダー不平等を超えるー北京+25』は8月後半発行です。
- ☆「2020戦争はごめん女性のつどい」は宣伝行動とします（8月20日予定）。